



令和3年 12月9日

一般社団法人 小郡三井医師会
会長 島田 昇二郎 様

NPO 法人筑後地域救急医療研究会
理事長 坂本 照



令和3年度「第2回筑後地域症例検討会」の開催について（ご案内）

師走の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素からNPO法人筑後地域救急医療研究会の活動に格別のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当研究会では、地域救急医療に携わる医師、看護師及び救急救命士を対象に、下記のとおり令和3年度「第2回筑後地域症例検討会」を今回もオンラインで開催いたします。

本研修会では、地域の医療機関と消防機関の連携強化及び知識向上を目的としており、医療機関と消防機関から多数ご参加いただくことで、よりよい検討会になるものと期待しております。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、皆様のオンラインによるご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和3年 12月20日(月) 15:00～17:00
久留米大学病院がホストを担当しオンライン（ZOOM会議）にて開催します。
- 2 内容 令和2年7月から令和3年6月までに消防機関が医療機関へ搬送した症例から「奏功症例」、「要検討症例」を選び、10例について検討を行います。
- 3 参加者 筑後地域及び鳥栖・三養基地区の医療機関 医師・看護師等
筑後地域及び鳥栖・三養基地区の消防本部 職員
- 4 プログラム（詳細は別紙参照）
 - 14:45 オンライン（ZOOM会議）ログイン受付開始
 - 15:00 開会挨拶
主催：NPO 法人筑後地域救急医療研究会
ホスト：久留米大学病院高度救命救急センター
 - 15:10 演題発表（10症例） 講評・その他
 - 17:00 閉会（予定）

以上

NPO 法人筑後地域救急医療研究会

令和 3 年度 第 2 回 オンライン症例検討会

日時：12 月 20 日（月）15:00～17:00

14:45 より入室受付開始



本会は Zoom を用いたオンライン形式で開催いたします。

ミーティング ID: 889 9303 4124

パスコード: 534055

URL : <https://us06web.zoom.us/j/88993034124?pwd=U2tnNkhrV3ZHYjg0ZkZnK2UxRm1DUT09>



QR コード

《ご注意》

- ・上記 URL のミーティングルームにアクセスしていただきましたら、必ずご施設名とお名前を入力して「参加する」をクリックしてご入室ください。（14:45 までに待機していただければ幸いです。よろしくお願いします。）事務局が確認いたしましたら入室許可いたします。
- ・Zoom によるご視聴は、事務局よりご案内差し上げた皆様のみとなっております。なお、本検討会は救急医療に関する個人情報等を取り扱いますので、医療関係者以外の方がいらっしゃる公共の場所などからのアクセスはお控え下さい。
- ・Zoom の利用が初めての方は、事前に「Zoom」のインストールを済ませ、動作確認のための接続テストをした上でご参加下さい。また、必ずマイクはミュートの状態にしてご参加下さい。

当日の「Zoom」に関する問合せ先
聖マリア病院 救急業務室
TEL 0942-35-3322 内線 1199（担当：大淵）

裏面もご覧下さい

NPO 法人筑後地域救急医療研究会

令和3年度 第2回 オンライン症例検討会 プログラム

1. 開 会 (15:00)
2. 理事長挨拶：NPO 法人筑後地域救急医療研究会 理事長 坂本照夫
3. 座 長：久留米大学病院高度救命救急センター 副センター長 山下典雄 中村篤雄
4. 演題発表：各消防機関より 10 演題発表
5. 講 評：
6. 閉 会：

演題発表順

<u>時 間</u>	<u>演 題</u>	<u>消防機関</u>
15:10	採石場内の機械に巻き込まれた症例	みやま市消防本部
15:20	化学熱傷に対しドクターヘリを要請した症例	筑後市消防本部
15:30	脊髄損傷による神経原性ショック症例	柳川市消防本部
15:40	両下肢骨折に対するショックパンツの使用について	大牟田市消防本部
15:50	内因性疾患（脳卒中）が先行しての交通事故	鳥栖・三養基地区消防本部
16:00	高速自動車道における複数傷病者発生症例について	八女消防本部
16:10	胃・十二指腸動脈瘤破裂を併発したクモ膜下出血症例	久留米広域消防本部
16:20	VT 波形を評価できなかった症例	久留米広域消防本部
16:30	心源性ショックを呈した心筋梗塞の傷病者を長距離搬送した症例	久留米広域消防本部
16:40	バイスタンダーの有効な CPR により社会復帰した症例	甘木・朝倉消防本部